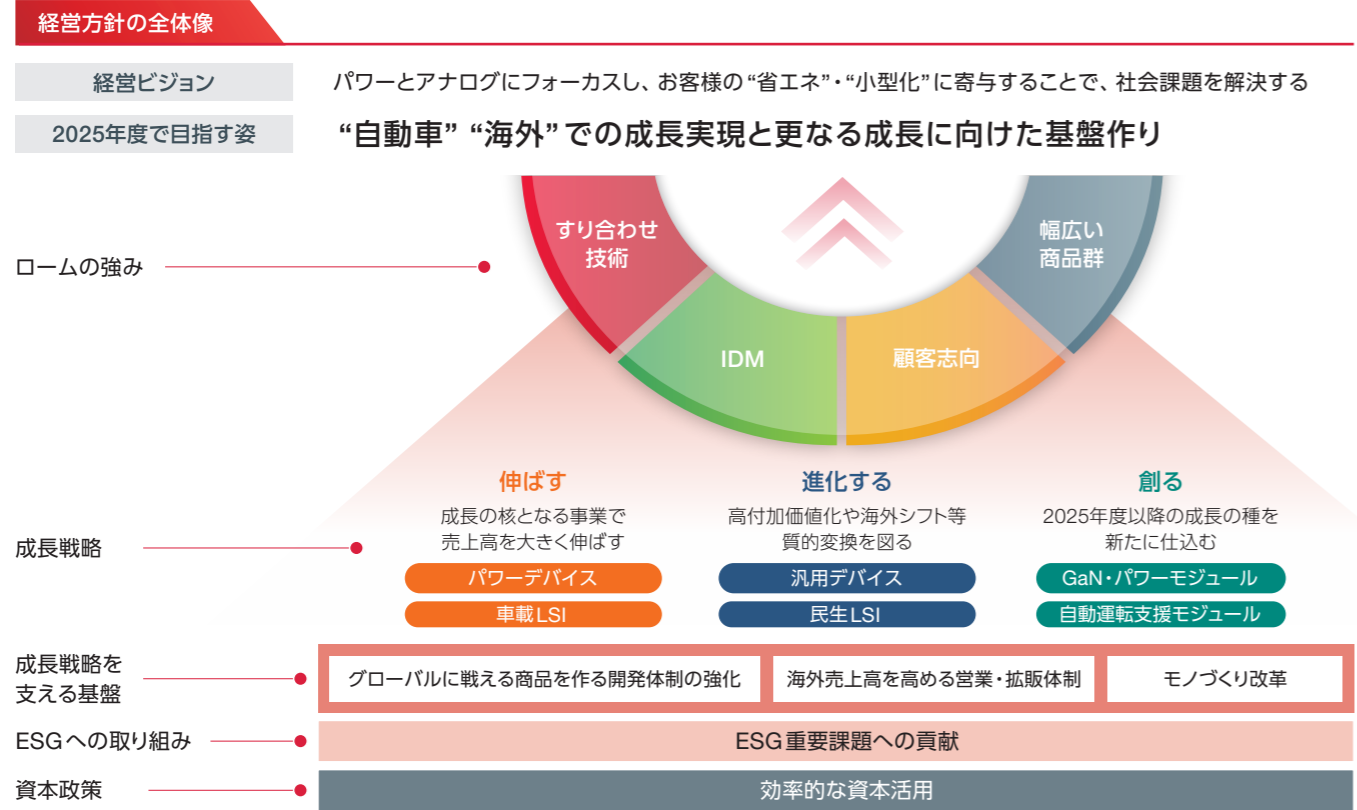


中期経営計画“MOVING FORWARD to 2025”進捗

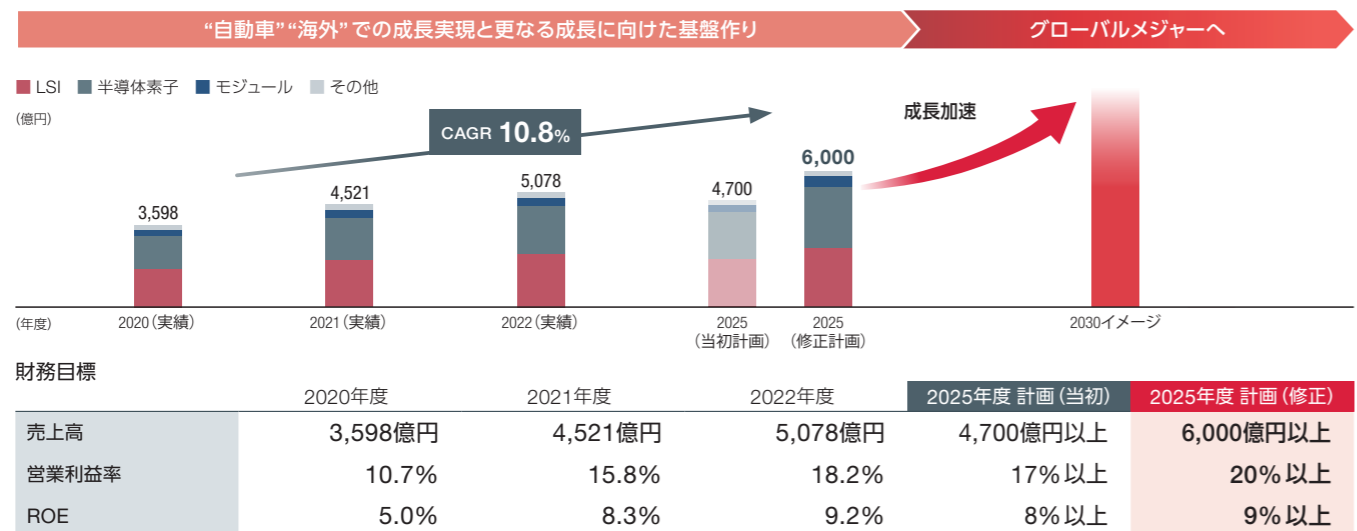
ROOMでは、2021年度に初めての中期経営計画“MOVING FORWARD to 2025”を発表しました。2025年度までの経営テーマを「自動車」「海外」での成長実現と更なる成長に向けた基盤作り」と定め、2030年にグローバルメジャーになることを目指しています。



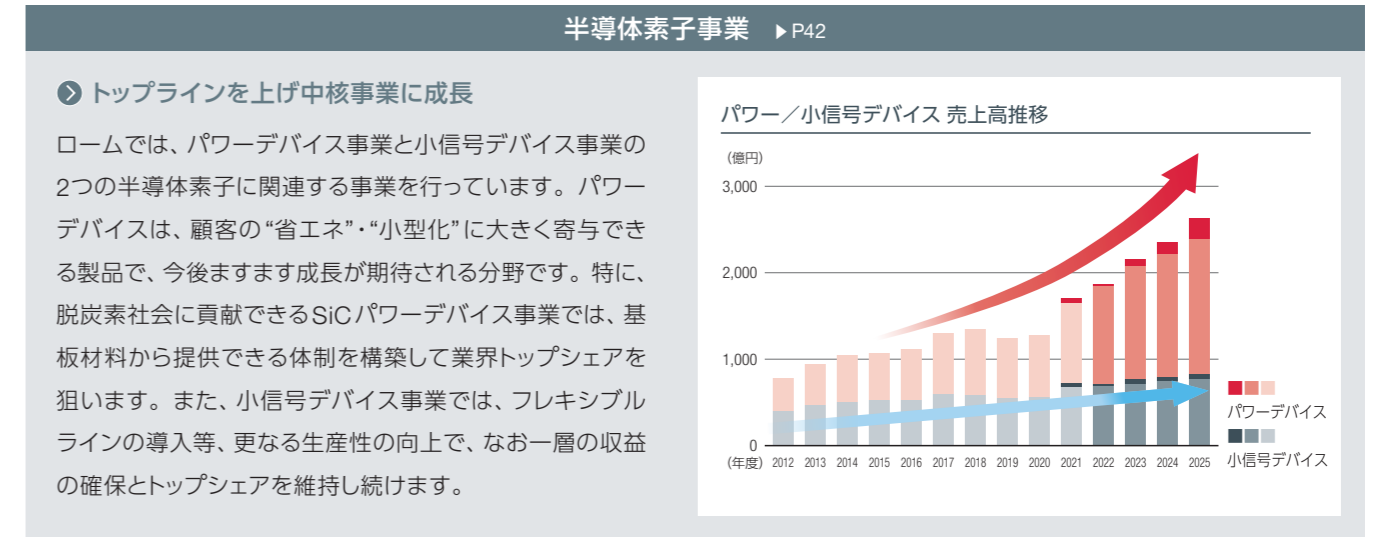
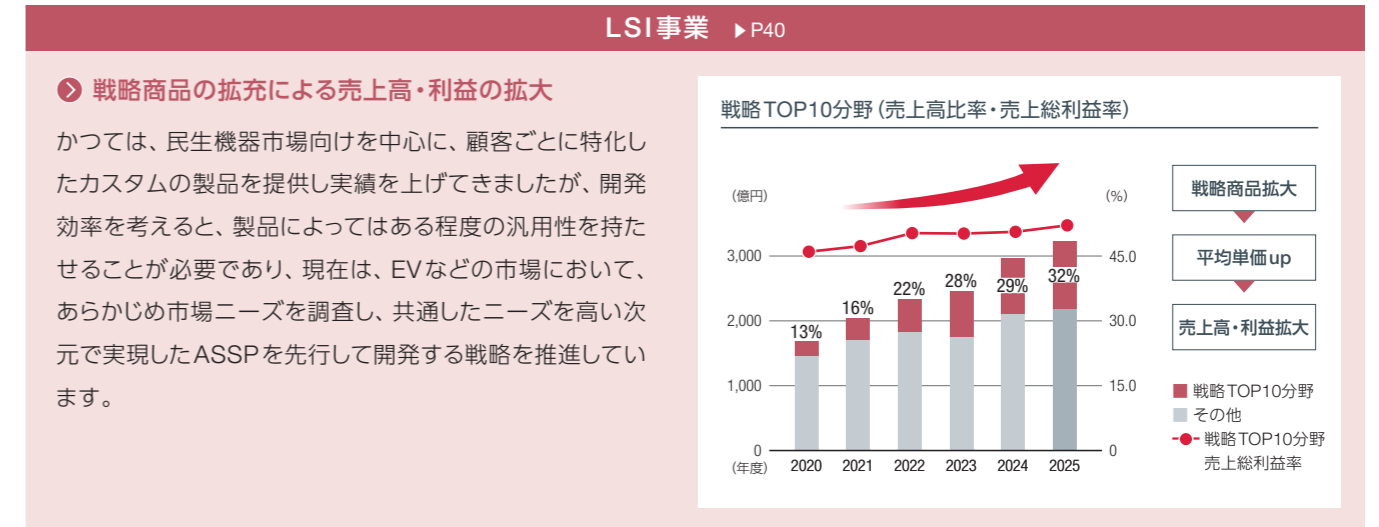
中期経営計画の位置付けと目標

ROOMは、1990年代に社会全体におけるIT化の進展により売り上げを大きく伸ばしました。しかし、2000年代に入り、ITバブルの崩壊とともに市場構造が大きく変化し、市場変化に対応するために構造改革を進めてきました。日系顧客の民生機器市場向けが中心だったビジネスを、日系だけでなく海外顧客も含

む自動車、産業機器市場向けに大きくシフトし、顧客の製品の省エネや小型化に貢献するパワーやアナログ半導体の製品開発に取り組み、成果を上げています。本中期経営計画は、2030年度に向けての飛躍的な成長を見据え、強固な経営基盤を構築するための5カ年計画として策定しています。



成長戦略の進捗



非財務目標に対する進捗

	目標	2022年度の主な取り組み	2022年度の主な成果
環境	● 2030年度にGHG排出量50.5%削減(2018年度比)	・タイの生産拠点で高効率チラーに更新 ・ラピッドセミコンダクタ宮崎工場で貫流ボイラー更新による重油削減	・GHG排出量8,921千t-CO ₂ (2018年度比21.8%減)
	● 再生可能エネルギー2050年度導入比率100%へ向け推進	・主力生産拠点であるタイ工場で再生可能エネルギー100%達成	・再生可能エネルギー導入比率24%(2021年度比18ポイント増)
ダイバーシティ、従業員	● グローバル女性管理職比率15% ● 女性または外国人の本社役員比率10%	・女性のキャリア形成促進	・グローバル女性管理職比率12.6% ・女性または外国人の本社役員比率23%
	● 従業員エンゲージメントスコア業界平均以上	・国内外のグループ会社にてエンゲージメントサーベイを実施 ・組織風土改革、働き方改革の推進	・エンゲージメントサーベイのグループ全体での導入を完了し、業界平均以上のスコア達成(「目標達成に向けた高い貢献意欲や組織に対する強い帰属意識」に関する質問に対し、好意的な回答を行った従業員比率が91%)
顧客	● 顧客の品質満足度スコア+10%改善(2020年度比)	・一部顧客に対して対面での調査結果のフィードバックを実施	・顧客の品質満足度スコア3.1%改善(2020年度比)